

Ⅱ 博物館事業の概要

1. 常 設 展

常設展示を構成する資料表

区 分	実 物 資 料 標 本 類	ジ オ ラ マ 機 器 模 型 類	カ ラ ー 透 視 写 真 お よ び 写 真	図 板	計
地 学	680	22	13	28	743
生 物	1,277	4	29	37	1,347
考 古	716	4	12	22	754
民 俗	235		20	17	272
美 術	延 115				115
史 料	94	23	5	3	125
計	3,117	53	79	107	3,356

(1) 地学展示室 (258m²)

- ・ 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- ・ 県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- ・ 各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか県内外の化石）。
- ・ 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- ・ 鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- ・ 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型。
- ・ 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- ・ 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- ・ 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の解説展示。

(2) 生物展示室 (257m²)

- ・ 大山と砂丘の生物の垂直および水平分布とその特性。
- ・ 岩礁の生物の生態と分布（ジオラマ）。
- ・ 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示(ジオラマ)。
- ・ 頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- ・ オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- ・ 鳥類の生息環境による分類と生態と鳴声を映像による解説。
- ・ 県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣。
- ・ 貝類の生息環境による分類とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産。
- ・ 昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボなど）。
- ・ 植物の分類展示（樹幹、帰化植物、シダ、海藻、およびキノコ）季節による入れ替え。

(3) 考古展示室 (258m²)

- ・ 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。

- ・弥生時代の遺物と時代編年および文化交流などの解説展示。
- ・古郡家一号古墳をはじめ古墳の一括資料の展示。
- ・県内出土の須恵器を時代編年ごとに分類展示。
- ・古墳時代の生活用具の復元展示（かまど三点セットなど）。
- ・県内出土の代表的はにわ（鹿、家、水鳥ほか）の展示。
- ・銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- ・古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、経塚出土の経筒などの展示。
- ・「古代の窓」因幡国府遺跡、梶山古墳関係資料を展示。



考古展示室

(4) 民俗展示室 (257 m²)

- ・江戸時代末から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- ・芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具、影絵などの資料を解説展示。
- ・生産コーナーでは江戸時代から大正時代にかけて使用され、今では失われつつある漁具と、その漁法について解説展示。
- ・灯器、発生史的分類により初期の電球までを展示。
- ・日用品、交易、化粧、食器、その他日用品の分類展示。
- ・つのだる、婚礼に使用された各種つのだるとほかい等。
- ・年中行事、県内の代表的な民俗行事を写真と資料によって季節ごとに紹介。

(5) 美術展示室 (260 m²)

- ・彫刻 平安時代から鎌倉時代の国、県指定の仏像を主として展示。
- ・絵画 鎌倉時代以降の仏画、江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅、屏風、鳥取県出身の洋画家の作品を展示。毎月1回展示替えを行なっている。
- ・書跡 重要文化財の金字法華経、巻二を展示。
- ・工芸 平安時代以降の国、県指定の金工品、請来品の中国陶磁器、江戸時代の郷土の陶器、染色型紙、鍔などを展示。

主な展示資料 ◎重要文化財 ○重要美術品 ●保護文化財

《彫刻》

◎本造	日光菩薩坐像	平安	国府町学行院	●木造	大国如来坐像	平安	若桜町永福寺
◎〃	月光菩薩坐像	〃	〃	●〃	〃	〃	〃
◎〃	藏王権現立像	〃	三朝町三仏寺	〃	藏王権現立像	鎌倉	岩美町観照院
木造	女神像	〃	〃	○鉄造	十一面観音立像	〃	西伯町加祥区
〃	十二神将立像	室町	日野町長楽寺	○〃	聖観音立像	〃	〃

《絵画》

(日本画)

土方稻嶺	猿之図	六曲一双	江戸	個人蔵	土方稻嶺	雲竜図	双	幅	江戸	本館蔵
〃	牡丹小禽図	双	幅	〃	〃	雪中梅華図	一	幅	〃	個人蔵
●〃	東方朔図	一	幅	〃	〃	風雲三顧図	〃	〃	〃	〃

小畑稻升	群鯉図	六曲一双	江戸	個人蔵
中島菜刀	麒麟獅子図	四曲一双	昭和	〃
〃	樹下青嵐図	二曲一双	〃	山陰合銀蔵
黒田稻臯	四季花鳥図	六曲一双	江戸	個人蔵
片山楊谷	竜虎図	二曲一双	〃	〃
〃	東方朔図	三 幅	〃	〃
建部樸斎	山水図	一 幅	〃	〃
〃	〃	〃	〃	本館蔵
島田元旦	雪中山水図	一 幅	〃	個人蔵
根本幽峨	山水図	六曲一双	〃	〃

(洋画)

遠藤 董	こともし	一 面	明治	本館蔵
〃	清水彦五郎像	〃	〃	〃
国頭繁次郎	いきもの	〃	昭和	〃
〃	十字架より降すキリスト	〃	〃	〃
前田寛治	立てる子供	〃	大正	〃
〃	西洋婦人像	〃	〃	〃
〃	棟梁の家族	〃	昭和	〃
〃	仰臥裸婦	〃	〃	〃
〃	男子像	〃	大正	個人蔵
〃	ブルターニュの女	〃	〃	〃

笹鹿 彪	風車にいとむ(ドンキホーテ)	〃	昭和	本館蔵	安岡信義	少年像	一 面	大正	本館蔵
〃	プロメテ	〃	〃	〃	〃	夏の河岸	〃	〃	〃
〃	帆を干す	〃	〃	〃	〃	杖をもつ男	〃	〃	〃
〃	漁港の女達	〃	〃	個人蔵	伊谷賢蔵	室内裸婦	〃	昭和	〃
〃	港	〃	〃	〃	〃	立石山早春	〃	〃	〃
香田勝太	小 庭	〃	大正	本館蔵	〃	万年山早春	〃	〃	〃
〃	初 雪	〃	昭和	〃	〃	クスコの朝市	〃	〃	〃
	松林笹百合	〃	〃	個人蔵	〃	梅	〃	〃	〃
松田晃八	山王の森	〃	〃	本館蔵					

(仏画)

紙本	十二天図	室町	智頭町豊乗寺	絹本	不動明王図	鎌倉	智頭町豊乗寺
絹本	十六善神図	鎌倉	〃	〃	〃	〃	用瀬町大安興寺
〃	愛染明王図	〃	〃	〃	五大明王図	〃	〃

《書跡》

◎金字法華経 卷2 鎌倉 鳥取市大雲院

《工芸》

銅鏡(十尊)	平安	個人蔵			
◎ 〃	〃	三朝町三仏寺	白磁、小皿、壺	宋・元	八束町新興寺
◎鉄製厨子及び銘板	〃	大山町大山寺	土神焼	江戸～大正	個人蔵
●擬宝珠(二口)	南北朝	関金町地藏院	浦富焼	江 戸	〃



建部樸斎 山水図

懸 仏	鎌倉	西伯町教育委員会	浜坂焼	江戸	個人蔵
●梵 鐘	〃	河原町国英神社	因州鐺	〃	〃
〃	〃	大山町大山寺	●青磁香炉	元	関金町地藏院
● 〃	南北朝	岩美町網代地区	○伝亀井公将来染織布		鹿野町護伝寺
○飾太刀（二口）	江戸	鳥取市栲谿神社	染型紙	江戸～大正	個人蔵

(6) 史料展示室 (111m²)

鳥取藩人物誌3「沖探三と剛介」と「江戸時代因伯の地誌」の二つのテーマで展示した。

○鳥取藩人物誌3「沖探三と剛介」(53.1～53.10)

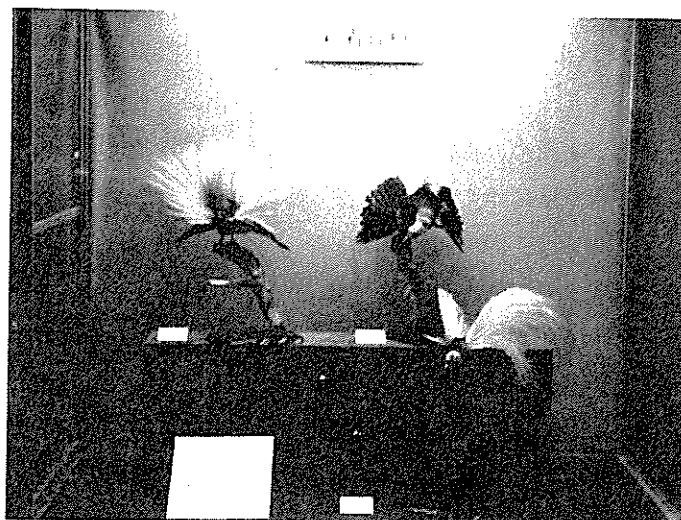
沖探三（守固）と剛介の兄弟は幕末鳥取藩にあって尊皇攘夷派の志士として活躍した人である。幕末の激動する時代の中での彼らを、昭和48年収集した沖家資料などにより展示した。

○江戸時代因伯の地誌(53.11～54.4)

地誌は古くから為政の資として史官によって編さんされている。因伯の地誌は江戸時代のものしか知られてなく、稲場民談記、伯耆民談記、因幡志、伯耆志などはその代表である。因伯地誌のほとんどが民撰で近代まで出版されず、多くは原本が失われ写本しか伝わっていなかったり、書名のみで幻の書も多い。今回の展示は16種の地誌について、原本、写本、複写本および関係史料により展示した。

◎新着資料展示コーナー

分 野	テ ー マ	期 間	内 容
民 俗	さん ば (漁 船 模 型)	4. 1～5.17	沿岸に使用された三丁櫓舟(き)
動 物	外 国 産 の け も の	5.18～7.10	トビウサギ、ハリネズミなどの剝製
〃	フ ウ チ ョ ウ	7.11～9.4	コフウチョウ(亜種)などの剝製
考 古	梶 山 古 墳 の 彩 色 壁 画	7.29～8.31	カラー写真など
	実験用中型放送衛星「ゆり号」	8.17～9.26	1/60の模型など
地 学	水 晶 の い ろ い ろ	9. 5～10.31	紫水晶(ブラジル産)など
〃	ク ジ ラ (脊 椎) の 化 石	11. 1～12.25	日本海底で採集した化石
動 物	ム サ サ ビ	12.26～54.1.31	ムササビの剝製
考 古	木 製 の 祭 祀 用 具	2. 1～3. 9	鳥取市塞ノ谷遺跡から出土した各種木製用具
民 俗	内 裏 び な	3.10～3.31	江戸時代の内裏びな1対



外国産のけもの

◎催 物

(1) 山陰海岸の生物展

会期 昭和53年 5月27日(土)～6月18日(日)

会場 第3展示室

山陰海岸の生物に対する親しみを深めるため、波浪、潮の干満、急激な温度変化など特殊な環境の中での海岸生物の生活の様子や種類を紹介し展示した。

主な展示内容

- 砂浜の生物 …… 砂浜の動植物、帰化植物、海岸の鳥……80点
- 岩礁の生物……潮間帯の動植物、浅海と岩礁の動植物……70点
- 漂着した生物……流れ寄る植物、自由をうばわれた動物……10点

(2) 美術資料館蔵品展

会期 昭和53年 6月22日(木)～7月9日(日)

会場 第1展示室 第3展示室

昭和48年8月から昭和53年6月の間に当館に寄贈された鳥取藩絵師の美術資料から現代に至る各分野の美術資料を展示した。

主な展示内容

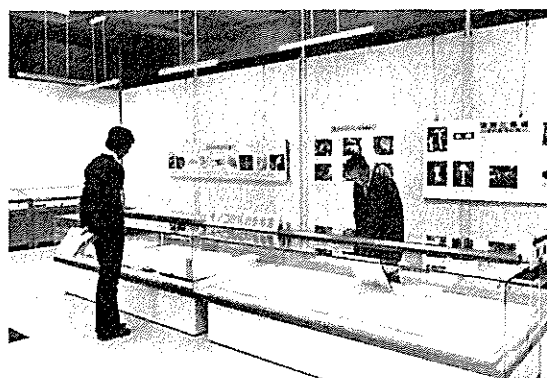
区 分	日本画	洋 画	版 画	書 跡	彫 刻	刀 剣	染 織	計
件 数	25	23	6	7	8	3	1	73
点 数	35	23	6	8	8	3	1	84
主な作家	土方 稲嶺 黒田 稲皐 沖 一峨 根本 幽峨 沖 九皐	安岡 信義 前田 寛治 笹鹿 彪 伊谷 賢蔵 国頭 繁次郎	橋本 興家	正牆 適処 三枝 真洞 大瀨 碧晴	長谷川塊記 早川巍一郎 入江 甲 福島 敬恭	月山 貞勝 森脇 要	大坪 重周	

(3) 秋のキノコ展

会期 昭和53年11月11日(土)～12月3日(日)

会場 第3展示室

キノコに対する理解と関心を高め、正しい知識と鑑別の眼を養うため、野外で目につく食用キノコ、毒キノコ、奇抜な形のキノコ、顕微鏡による胞子の世界などを標本、写真等により展示した。



会場風景

主な展示内容

- キノコのさまざま…食用キノコ、毒キノコなど95点
- キノコの一生……シイタケ、ヒラタケなどの発生と成長 20点
- ミクロの世界……シイタケ、ヒラタケなどの胞子のつき方と形 15点

●キノコ文献……………今井三子氏の研究業績、図鑑類 10点

(4) 民俗行事写真展

会期 昭和54年3月10日(土)～3月25日(日)

会場 第3展示室

祖先がたどった信仰生活の跡をふりかえり今日とのつながりを考えるため、当館で撮影記録した鳥取県内の古くから行なわれてきた伝統的な民俗行事を写真により展示した。

主な展示内容

●農山村で行なわれてきた年中行事のうち農耕儀礼に関する写真を中心に展示……写真60点

2. 特別展(館主催)

(1) 近代日本画名作展

主催 鳥取県教育委員会 鳥取県立博物館

協力 山種美術館

後援 鳥取県各市町村教育委員会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、NHK鳥取放送局

NHK米子放送局、山陰放送、日本海テレビ放送、山陰中央テレビ放送

会期 昭和53年4月29日(土)～5月21日(日)

会場 第1展示室 第2展示室

入場者 12,168人

入館料 一般500円(団体400円)、高校生300円(団体200円)、小・中学生200円(団体100円)

明治以降西洋文化が流入し、絵画の世界にも新しい西洋の画法が入り、伝統の上に安住していた日本画に大きな驚異を与えた。この間の百年に及ぶ近代日本画の道程を鑑賞するため、山種美術館所蔵品の中より伝統を支えた狩野芳崖、橋本雅邦から新しい主題をもとに大胆な表現にいとむ東山魁夷、杉山寧など日本画壇を代表する巨匠の名作100点を展示した。

出品目録

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 田能村直入 百 花 | 13. 竹内 栖鳳 艶 陽 |
| 2. 森 寛斎 雪中嵐山 | 14. 寺崎 広業 溪山雪後 |
| 3. 狩野 芳崖 新柳群燕 | 15. 鳥田 墨仙 高士訪友 |
| 4. 荒木 寛畝 雉竹長春 | 16. 小川 芋銭 採 桑 |
| 5. 滝 和亭 互 客 | 17. 横山 大観 竹 |
| 6. 橋本 雅邦 深山幽谷 | 18. 〃 春 朝 |
| 7. 菊池 芳文 花鳥十二月 | 19. 梶田 半古 緑 翠 |
| 8. 川端 玉章 漁村の朝 | 20. 山元 春挙 曠原放牧 |
| 9. 野口 小楨 芙蓉夏鴨 | 21. 荒木 十畝 四季花鳥 |
| 10. 渡辺 省亭 月に千鳥・桜に
雀・紅葉に小鳥 | 22. 川合 玉堂 早 乙 女 |
| 11. 小堀 柄音 那須与一
宗隆射扇 | 23. 〃 雨 後 |
| 12. 竹内 栖鳳 憩える車 | 24. 下村 観山 老松白藤 |



石本 正 のれん

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 25. 下村 観山 寿 老 | 52. 酒井 三良 水郷 静日 | 67. 橋本 明治 舞 |
| 26. 菱田 春草 白 牡丹 | 53. 福田平八郎 鮎 | 68. 東山 魁夷 春 来る丘 |
| 27. 〃 月 四 題 | 54. 山口 蓬春 唐 壺 芍 薬 | 69. 杉山 寧 昂 |
| 28. 上村 松園 夕 へ | 55. 徳岡 神泉 緋 鯉 | 70. 高山 辰雄 緑 の 影 |
| 29. 〃 春 芳 | 56. 伊東 深水 婦 人 像
(赤い手袋) | 71. 吉田 善彦 大和 四 題 |
| 30. 結城 素明 秋 の 山 路 | 57. 加藤 栄三 鶴 | 72. 森田 肱平 出雲 阿 国 |
| 31. 木村 武山 秋 色 | 58. 山田 申吾 宙 | 73. 大森 運夫 山の夜神楽 |
| 32. 西村 五雲 寒 渚 | 59. 横山 操 越路土景の内 出
雲崎晩鐘并彦晴嵐 | 74. 石本 正 の れ ん |
| 33. 平福 百穂 湖 山 雨 霽 | | |
| 34. 鍋本 清方 伽 羅 | | |
| 35. 菊池 契月 紀 貫 之 | | |
| 36. 富田 溪山 嵐 山 の 春 | | |
| 37. 今村 紫紅 大 原 の 奥 | | |
| 38. 小杉 放庵 漁 樵 問 答 | | |
| 39. 森田 恒友 河 畔 小 景 | | |
| 40. 松岡 映丘 春 光 春 衣 | | |
| 41. 小林 古径 河 風 | | |
| 42. 〃 猫 | | |
| 43. 橋本 関雪 生々 流 転 | | |
| 44. 石井 林響 総 南 の 旅 | | |
| 45. 川端 竜子 華 曲 | 60. 安田 鞞彦 平泉の義経 | 75. 石田 武 林 |
| 46. 前田 青邨 異の風 行 列
信 長 | 61. 奥村 土牛 城 | 76. 加山 又造 冬 山 |
| 47. 土田 麦僊 山 茶 花 | 62. 小野 竹喬 冬 樹 | 77. 平山 郁夫 バビロンの城 |
| 48. 村上 華岳 冬 之 山 | 63. 小倉 遊亀 涼 | 78. 上村 淳之 晨 |
| 49. 中村 岳陵 晴 れ し 海 | 64. 山本 丘人 洋上の火山 | 79. 下田 義寛 仔馬と少年 |
| 50. 小茂田青樹 春 暁 | 65. 山口 華楊 芍 薬 | 80. 竹内 浩一 猿 図 |
| 51. 速水 御舟 供 身 像 | 66. 上村 松篁 千 鳥 | |



会 場 風 景

(2) 世界の現代陶芸展

主催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後援 京都国立近代美術館、鳥取県各市町村教育委員会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、山陰放送、NHK鳥取放送局、NHK米子放送局、日本海テレビ放送、山陰中央テレビ放送

会期 昭和53年7月20日(木)～8月17日(木)

会場 第1展示室、第2展示室

入場者 3,233人

入館料 一般500円(団体400円)、高校生300円(団体200円)、小・中学生200円(団体100円)

わが国の陶芸は、世界でも最高の水準にある。近年世界各国において陶芸への関心は高く、それぞれ固有の伝統にもとづいた壺、鉢、皿など実用性を重視したものから創意にみちた多彩な作品が造られている。京都国立近代美術館の所蔵品の中から、日本をはじめ欧米など世界16ヵ国の現代陶芸作品167点を展示した。

●陳列点数

国 別	作家	点数	国 別	作家	点数
日 本	40	46	ベルギー	2	2
アメリカ	22	26	西ドイツ	1	1
カナダ	5	10	スイス	6	6
メキシコ	4	5	スウェーデン	6	10
イギリス	13	14	ノルウェー	5	5
フランス	13	12	フィンランド	8	8
イタリア	16	18	エジプト	1	2
オランダ	1	1			
デンマーク	7	6	計	150	172



会 場 風 景

●出品目録

- | | | |
|----------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 1. キュロ ピエール 壺 | 29. マーシャル ウィリアム 蓋つき壺 | 58. トウウミ ライヤ 壺 |
| 2. ド・ヴァンク アントワース 花生 | 30. リー ルーシー 鉢 | 59. H. ミルダム レイフ 〃 |
| 3. オルパス ヘレ 大平鉢 | 31. スペンサー・グリーン アラン 壺 | 60. ミエルヴェ トウリッド 扁壺 |
| 4. ビエルクボルク アンデルス 扁壺 | 32. リーブス アン・ウイン 長皿 | 61. プリョエン エリク 二口壺 |
| 5. リンガード フィン 皿 | 33. ウェルチ ロビン フォーム | 62. フォン・デル・リッペ イェンス 鉢 |
| 6. マンツ ボディル&リヒアルト 深鉢 | 34. アボツォ エドガルド 陶彫 | 63. フォン・デル・リッペ マルグレーテ 〃 |
| 7. ニールセン ボディル・マリー 壺 | 35. アルフォンソ レオーニ 〃 | 64. フリベリ ベルト 花生 |
| 8. ラスムッセン ピーダー 〃 | 36. バリエリ ガエターノ 〃 | 65. ヒルフォン ヘルタ 陶彫 |
| 9. サドル エル 辰砂花瓶他 | 37. カルーゾ ニーノ 〃 | 66. レウコヴィウス シルヴィア 壺 |
| 10. アルプ ハンス 陶彫 | 38. ファントーニ マルチェット 壺 | 67. リンドベリ スティーブ 〃 |
| 11. ドゥブランデ ローベル 壺 | 39. フォンタナ ルーチオ 陶板 | 68. ベルソン イングル 花の陶彫など |
| 12. ビショッフスハウゼン 〃 | 40. ファブリーニ フェデリゴ 陶彫 | 69. ストルハーネ カール・ハリー 大皿 |
| 13. フーケ ピエール 鉢 | 41. マテウッチ ドメニコ 大鉢 | 70. シャバラ エドゥアール 角皿 |
| 14. フランク フランス 〃 | 42. マツイーニ ロマーノ 陶彫 | 71. デフラウイ シルヴィア 壺 |
| 15. デル・ピエール フランシース 〃 | 43. ピアネツォーラ ポンベオ 〃 | 72. ランベルシ フィリップ 〃 |
| 16. ルラ ジャン&ジャクリヌ 扁壺 | 44. ロッリ ロメオ 〃 | 73. ルギンビュール ウルシ 〃 |
| 17. ビエルロ ノルベール&ジャンヌ 壺 | 45. ストリング カルロ 〃 | 74. プレセット クロード 〃 |
| 18. ピザ 陶彫 | 46. トラモンティ グェッリーノ 壺 | 75. ツァーナー アーノルド 〃 |
| 19. ルーロ ピエール 壺 | 47. ポンビリ グラツィアーノ 陶彫 | 76. クーン ベアテ 白い陶彫 |
| 20. シヴォー ロジェ 〃 | 48. ザウーリ カルロ 水平なふるえ | 77. アレソ レイモンド 憶い出70 |
| 21. コンスタンティニデイス ジョアンナ フォーム | 49. タスカ アレッシオ 壺 | 78. アーネスン ロバート 受け皿に沈んでいくカップ |
| 22. コパー ハンス 壺 | 50. ロルフ ジョニー 〃 | 79. アーンツ マイケル 春のオブジェ |
| 23. ダックワース ルース 大平鉢 | 51. ハラマー リイサ 大皿 | 80. バセラ ラルフ 黒3 |
| 24. ヘンダーソン ユウエン 鉢 | 52. ホヴィサーリ アンニキ 角瓶 | 81. パウア フレッド 回転 |
| 25. ジャップ モウ 壺 | 53. カイピアイン ビルガー 陶板 | 82. パウア パッティ・ワラシナ アメリカン、ピューティローズ |
| 26. キーバックス メアリー 陶彫 | 54. チェルベリ フリードル 大皿 | 83. フリムケス マイケル 青と白の棒型花瓶 |
| 27. リーチ バーナード 鉄砂抜絵紋鉢 | 55. リンド フランチェスカ 陶板 | 84. ギルフリー デヴィッド 崩壊した世界 |
| 〃 壺 | 56. ムオナ トイニ 大皿 | 85. フィカ・クオン ランプつき陶彫 |
| 28. リーチ ジャネット まな板皿 | 57. サルメンハーラ キリキ 壺 | 86. コトラー ハワード 黄金の天使 |

- | | | | | | |
|---------------------------|--------------------|--------------|-----------------|------------|-------------|
| 87. メイソン ジョン | 垂直の彫刻 | 111. 藤平 伸 | 鳥たちの歌(壺) | 136. 辻 晋堂 | 寒山 |
| 88. メルチャート ジェイムズ | 壺のa | 112. 藤原 啓 | 備前筒形花生 | 137. 鈴木 治 | 泥像 |
| 89. ローズ ダニエル | 貯蔵所 | 113. 金重 陶陽 | 備前花生 | 138. 八木 一夫 | 黒陶人物 |
| 90. ロウ＝ビーア スーザン | サンドイッチ | 114. 今井 政之 | 「回想」花器 | 139. 山田 光 | 窓 |
| 91. ロスマン ジェリー | 様式D | 115. 石黒 宗麿 | 緑釉蓋物 | 140. 熊倉 順吉 | 「風人'67」 |
| 92. ショウ リチャード | スプーンつき
かもめの壺 | 116. 高鶴 元 | 古上野釉組鉢 | | |
| 93. ショアーズ ケン | 骨崇拜 | 117. 加藤 清之 | 花器 | | |
| 94. サイラー パトリック | 魔法の瓶 | 118. 加藤土師筋 | 碧釉みみづく文鉢 | | |
| 95. ソールナー ボール | らくの皿 | 119. 浜田 庄司 | 海鼠釉墨流描大鉢 | | |
| 96. スターバード ケネス | 花生 | 120. 富本 憲吉 | 色絵金彩羊歯模様大
飾壺 | | |
| 97. スガノ レオ | 壺 | 121. 河井寛次郎 | 辰砂花花鉢 | | |
| 98. ウォルシュラーガー
フィッド | 蓋物 | 122. 北大路魯山人 | 磁器赤絵筋文中皿 | | |
| 99. アグニユー ジェイン | 毛皮のセン
ターピース | 123. 板谷 波山 | 朝陽磁鶴首花瓶 | | |
| 100. シカンスキー ヴィクター | 唇のある靴 | 124. 加守田章二 | 銀陶六面鉢 | | |
| | 最新スタイルの
ディヴィヌの靴 | 125. 加藤 嶺男 | 総織部大鉢 | | |
| 101. クールノワイエ ジョルジェ | 5つのバック | 126. 河本 五郎 | 白い陶管 | | |
| 102. レヴィーン マリリン | バック | 127. 木村 盛和 | 白ふち釉描天目釉大皿 | | |
| 103. ソーンズベリー
ジェイムズ | 塩釉の陶彫 | 128. 清水六兵衛 | 玄窯梅花瓶 | | |
| 104. ディアス・デ・コシオ
アルベルト | 灰色の器 | 129. 近藤 悠三 | 染付梅花大飾皿 | 141. 柳原 睦夫 | 紺釉金銀彩花瓶 |
| 105. ディアス・デ・レオン
グラスイエラ | うそ発見器 | 130. 楠部 弥弼 | 幽韻花瓶 | 142. 坪井明日香 | 笛師の戯れ |
| 106. マノーラ | 壺 | 131. 中里太郎右衛門 | 叩きづくりの壺 | 143. 林 秀行 | 作品 |
| 107. レイノン ルイサ | 2つの瓶他 | 132. 清水 卯一 | 柿釉壺 | 144. 宮永 理吉 | 三角形に参加する直方体 |
| 108. 荒川 豊蔵 | 志野鉦鉢「鶴」 | 133. 谷口 良三 | 碧晶 | 145. 森野 泰明 | 揺 75-5 |
| 109. 浅見 隆三 | 白磁壺 | 134. 田村 耕一 | 黒釉あやめ文大皿 | 146. 森 陶岳 | 彩文土器 |
| 110. 江崎 一生 | 灰釉大鉢 | 135. 宇野 三吾 | 青点皿 | 147. 大樋 年郎 | 飴釉「花と鳥」喰籠 |



ヒルフォン ヘルタ 陶彫

(3) 縄文の文化展

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、NHK 鳥取放送局
NHK 米子放送局、山陰放送、日本海テレビ放送、山陰中央テレビ放送

会 期 昭和53年10月7日(土)～11月5日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室

入場者 11,717人

入館料 一般500円(団体400円)、高校生300円(団体200円)、小・中学生200円(団体100円)

縄文時代とその文化を理解し、現代とのつながりを考えるため、人類が土器を発明してから弥生時代に至る約1万年の長い歩みの跡を、全国各地の遺跡から出土した土器、各種の遺物、遺跡により展示した。

主な展示内容

(1) 縄文時代の日本列島

岩陰遺跡と隆線文土器、縄文海進と海退、照葉樹林の北進………150点

(主な資料)

線刻のある礫石	愛媛県上黒岩岩陰遺跡出土	文化庁蔵
細隆線文土器 (わが国最古の土器といわれている)	東京都なすな原遺跡出土	慶応義塾大学考古学研究室蔵

(2)縄文人と風俗信仰

謎の石組ストーンサークル、抜歯の風習、埋葬人骨と装身具、縄文人と原始信仰など……91点

(主な資料)

抜歯頭骨	東京都小岩遺跡、宮城県黒浜遺跡出土	国立科学博物館蔵
子どもを抱く土偶	東京都宮田遺跡出土	文化庁蔵

(3)縄文式土器

時期や用途による器形のちがい、土器の作り方、土器の用途……90点

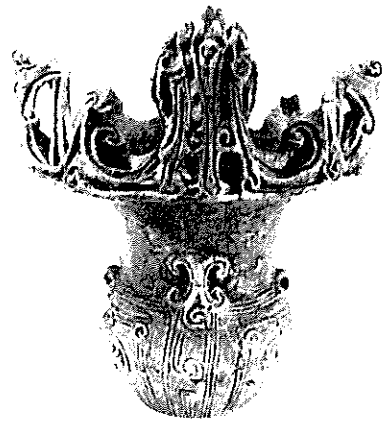
(主な資料)

小形丸底深鉢	京都府武者ガ谷遺跡出土	福知山市教育委員会蔵
尖底深鉢	青森県館平遺跡、長七谷地貝塚出土	慶応義塾大学考古学研究室蔵
深鉢、貝殻状耳付深鉢	長野県細久保遺跡、下島遺跡出土	諏訪考古学研究所蔵
火炎土器	新潟県沖ノ原遺跡出土	津南町教育委員会蔵
◎巻貝形土製品	〃 上山遺跡出土	文化庁蔵
◎足形付土製品	〃 〃	〃
◎人面付注口土器	北海道茂辺地遺跡出土	〃

(◎は重要文化財)



会場風景



(4)山の生活と海辺の生活

竪穴住居と縄文人の食生活、狩猟と漁労、八ガ岳のむら、貝塚を残した人々など……389点

(主な資料)

新道式土器セット	長野県新道遺跡出土	諏訪考古学研究所蔵
加曾利E式土器セット	東京都蓮光寺台遺跡出土	慶応義塾大学考古学研究室蔵
自然遺物、魚骨、等	茨城県福田貝塚出土	平安博物館蔵

(5)山陰地方の縄文文化

丹後、但馬、因幡、伯耆、出雲の各地方の縄文文化……350点

(主な資料)

埋 壺	京都府桑飼下遺跡出土	舞鶴市教育委員会蔵
浅 鉢	〃	〃
櫛、石斧柄、槍状木製品	鳥取県桂見遺跡出土	鳥取市教育委員会蔵
鉢形土器	〃 布勢遺跡出土	個人蔵
浅鉢、甕形土器、小形丸府深鉢	〃 松ガ坪遺跡出土	倉吉市立博物館蔵

3. 館 外 主 催 展

展 覧 会 名	期 間	内 容	入館者数	主 催 者
第 62 回 二 科 展	3.26～4.9	絵画、彫塑、写真、商業美術 294点	17,016人	潮田海新聞社、BSS企画
山 陰 書 人 社 展	5.28～6.3	書 26点	1,256	山陰書人社
第 三 文 明 展	6.7～6.11	絵画、彫刻、書、工芸 190点	3,175	第三文明協会
鳥取大学開学記念美術展	7.3～7.9	絵画、彫刻、写真、書 131点	652	鳥 取 大 学
日 本 の 書 展	7.12～7.16	書 210点	1,413	山陰中央新報社
鳥 取 県 美 術 展	9.15～9.24	絵画、彫刻、写真、書、工芸 503点	(7,446)	鳥取県教育委員会
創立10周年記念チャール会 鳥取展	10.15～10.22	絵 画 68点	2,252	チャール会鳥取
明日を開く電気通信展	11.1～11.5	電話機、図板パネル 約 360点	5,600	電々公社
第1回鳥取デザイナー協会作品展	11.18～11.25	デ ザ イ ン 92点	2,600	鳥取デザイナー協会
鳥取県高等学校美術展	11.19～11.25	絵画、彫刻、工芸 199点	2,085	鳥取県高等学校教育研究会美術部会
鳥取書道連盟展会員展	11.29～12.3	書 151点	895	鳥取書道連盟
第4回鳥取県写真家協会展	54.3.19～3.25	写 真 80点	670	鳥取県写真家協会
合 計			(7,446) 37,614	() は再掲である。

4. 教育普及活動実施状況

博物館活動の一環として館内外において、天体観望会、観察、見学会、講座、映写会を開催した。また、本年度から新規事業として県下三地区において博物館資料の巡回展を開催した。

●巡 回 展

(1) 鳥取県立博物館第1回巡回展 「鳥取県の洋画」

主催 鳥取県立博物館、日野町教育委員会、境港市教育委員会、淀江町教育委員会

会場 会期、入場者

会 場	会 期	入 場 者
日 野 町 公 民 館	10. 27～10. 31	850人
境 港 市 境 公 民 館	11. 3～11. 7	1,700
淀 江 町 中 央 公 民 館	11. 10～11. 14	870
合 計		3,400

入場料 無 料

本年度より県内各地域の文化振興のため、鳥取県立博物館に収集した美術資料の中から、明治、大正、昭和に活躍した本県出身作家の作品を選んで県下3地区を巡回した。

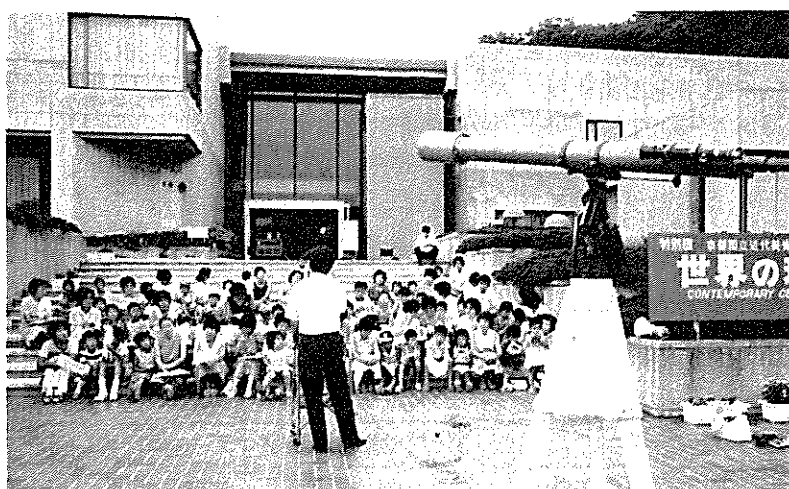
展示資料

1. 遠藤 董 清水彦五郎像
2. 香田 勝太 初 雪
3. 安岡 信義 少 年 像
4. 〃 夏 の 河 岸
5. 松田 晃八 山 王 の 森
6. 前田 寛治 西洋婦人像
7. 前田 寛治 仰 臥 裸 婦
8. 〃 裸 婦 習 作
9. 伊谷 賢蔵 クスコの朝市
10. 〃 裏大山晩秋
11. 笹鹿 彪 プロメテ
12. 笹鹿 彪 風車にいどむ
13. 〃 押 っ ペ し
14. 国頭繁次郎 十 字 架 より 降 ず キ リ ス ト
15. 〃 い き も の

●天体観望会、見学会等

事業名	月 日	内 容 ・ 会 場	講 師	参加者
天体観望会	4.14(金)	春の星座観望会 当館前庭	当館学芸員	65人
	7.14(金)	夏の 〃 〃	〃	66
	8. 4(金)	〃 〃 〃	〃	250
	9.16(土)	名月を見る会 〃	〃	68
	12. 1(金)	冬の星座観望会 〃	〃	35
見学会 採集会	4.15(土)	法勝寺祭見学会 西伯町法勝寺	〃 外	23
	4.23(日)	史跡を訪ねる会 鳥取市	〃	29
	5.13(土)	野鳥の声を聞く会 鳥取市樗谿公園	〃 外	68
	6.24(土)	法勝寺焼見学会 西伯町法勝寺	〃 外	17
	8. 6(日)	化石採集会 津山市新田	〃	34
	9.14(木)	虫の声を聞く会 鳥取市樗谿公園	〃 外	24
	10.14(土)	キノコを調べる会 〃	〃 外	57
	10.22(日)	自然と歴史を訪ねる会 赤碓町船上山	〃	47
標本の名前 を調べる会	11.19(日)	地質見学会 岩美町駈馳山	〃 外	7
	8.24(木)	標本の名前を調べる会 当館会議室	当館学芸員外	210
講演会	4.29(土)	近代の日本画 当館講堂	山種美術館学芸部長 佐々木直比呂	66
	5. 5(金)	動く大陸 〃	当館学芸員	50
	5.17(水)	鳥取池田家資料と 藩政史研究の動向 〃	京都大学名誉教授 小葉田 淳	220
	〃	江戸初期の貨幣と因伯流通銀 〃	鳥取大学教授 河手 龍海	
	7.30(日)	世界の現代陶芸 〃	京都大学教授 乾 由明	75
	9. 9(土)	鳥取駅高架と変りゆく街 〃	鳥取文化団体協議会長 浅沼 喜実	115
	9.16(土)	鳥取県の洋画 〃	当館学芸員	20
	10. 7(土)	縄文人の生活 〃	平安博物館助教授 渡辺 誠	95
	11. 5(日)	鳥取砂丘の自然について 〃	鳥取大学教授 越智 春美	40
講座	5.27(土)	磯の自然 当館会議室	〃 恩藤 芳典	11
	6. 3(土)	山陰海岸の生物 〃	当館学芸員	12
	6.10(土)	山陰海岸の地形と地質 〃	〃	18
	6.17(土)	海辺の貝たち 〃	〃	9
	10.14(土)	縄文の文化 〃	〃	16
	10.21(土)	東山陰の縄文文化 〃	鳥取県教育委員会文化課文化財係長 亀井 熙人	17
	10.28(土)	西山陰の縄文文化 〃	鳥取県文化財保護審議会委員 佐々木 謙	11
	11. 4(土)	縄文時代の信仰と祭 〃	当館学芸員	9

講座	11.19(日)	鳥取藩池田家資料	当館講堂	鳥取大学名誉教授 徳永 職男	85
	〃	近世初期因伯の石高について	〃	県史編さん室主幹 日置糸左エ門	
	〃	御用商人の家法	〃	鳥取県立倉吉西高校教諭 田村 達也	
	〃	鳥取藩における地主制	〃	鳥取大学教授 河手 龍海	
講座 (小・中学生)	7.30(日)	親と子の博物館野外教室 米子市久米城跡	当館学芸員外		210
	7.31(月)	第5回博物館中学生講座 日南町	当館学芸員外		150
	8.1(火)				
映 写 会	4.16(日)	森の生いたち、森の動植物			70
	4.30(日)	岡倉天心のころ			36
	5.3(水)	前田青邨			34
	5.7(日)	岡倉天心のころ			30
	5.14(日)	〃			33
	5.21(日)	前田青邨			33
	7.23(日)	明日の芸術、アメリカの彫刻家たち			20
	8.6(日)	〃	〃		17
	8.13(日)	〃	〃		11
	9.24(日)	石の文化、明治の洋風建築			78
	10.8(日)	縄文時代			200
	10.10(火)	〃			120
	10.22(日)	〃			60
	10.29(日)	〃			60
	11.3(金)	〃			50
	11.5(日)	〃			32
	3.18(日)	極点への道、公害			45



夏の星座観望会

●資料貸し出し

貸し出し先	期 間	資 料 名	備 考
倉吉博物館	7.15～ 8.31	郷土玩具11点	因伯の郷土玩具展
智頭町中央公民館	7.25～ 8.10	日本海産の貝、甲殻類、写真ハネルなど156点	日本海の貝類と野鳥の生態の展示
倉吉博物館	8.30～ 9.26	絵画「黒衣婦人像」浜田宣伴作	中井金三と郷土美術の流れ

倉吉博物館	10.27～12.4	台付壺など 5点	伯耆、因幡の文化遺産
三朝町	10.31～11.7	民俗行事写真など 30点	町民まつり文化祭
智頭町中央公民館	54.1.12～1.23	化石標本 50点 写真パネルなど 18点	化石展
倉吉博物館	3.4～3.31	植物標本、写真パネルなど 110点	山陰海岸の生物展

5. 調査研究活動

調査研究

分野	事項
地 学	○鳥取層群の生層序的調査研究の一環としてイタヤガイ科の化石の分類的記載を進め、その結果を研究報告No.16にまとめた。 ○第四系化石の分類整理をし資料目録21号にまとめた。 ○54年度特別展「日本海100万年」に関する調査と資料の採集をした。
動 物	○鳥取市千代川河口の鳥類を調査し、その結果を研究報告No.16にまとめた。 ○山陰海岸における自然史に関する調査として打ち揚げ貝のうち二枚貝の分類をした。 ○54年度特別展「日本海100万年」に関する調査と海岸動物の採集をした。
植 物	○山陰海岸における自然史に関する調査として海浜植物、沿岸海域の海藻を採集し分類した。 ○被子植物（合弁花）の分類整理をし資料目録20号にまとめた。 ○54年度特別展「日本海100万年」に関する調査と海岸植物の採集をした。
考 古	○特別展「縄文の文化」について調査し展示した。 ○布勢遺跡出土 縄文式土器の調査研究をした。
民 俗	○県内の民俗行事のうち賀露神社祭礼行事とうわなり神事につき調査研究をした。 ○国鉄鳥取駅高架に伴う鉄道関係資料の収集をした。
美 術	○基礎資料として郷土関係美術資料の所在調査と調書の作成をした。 ○特別展「近代日本画名作展」「世界の現代陶芸」について調査し展示した。 ○54年度特別展「山陰の仏教美術」について調査した。
史 料	○池田家史料「日記類」特に御国日記の調査研究をした。 ○加藤家文書を整理し資料調査報告書第6集にまとめた。 ○史料所在確認調査をした。 ○「沖探三と沖剛介」、江戸時代以降の「因伯の地誌」について調査し展示した。

● 研究報告書等の刊行

名 称	規 格	ページ数	部 数
年 報（昭和52年度）	B 5	36	700
郷土と博物館 第24巻 1号	A 5	28	1,000
〃 〃 2号	〃	30	1,000
博物館利用の手引（第1集）	〃	48	1,000
所蔵資料目録 20（被子植物）	〃	31	500
〃 21（化石）	〃	22	500
研究報告 第16号	B 5	58	500
資料調査報告書 第6集（因幡国高草郡植原村加藤家文書）	〃	42	300